



Informatica® Mass Ingestion
April 2024

取り込みジョブの監視

Informatica Mass Ingestion 取り込みジョブの監視
April 2024

© 著作権 Informatica LLC 2019, 2024

本ソフトウェアおよびマニュアルは、使用および開示の制限を定めた個別の使用許諾契約のもとでのみ提供されています。本マニュアルのいかなる部分も、いかなる手段（電子的複製、写真複製、録音など）によっても、Informatica LLC の事前の承諾なしに複製または転載することは禁じられています。

米政府の権利プログラム、ソフトウェア、データベース、および関連文書や技術データは、米国政府の顧客に配信され、「商用コンピュータソフトウェア」または「商業技術データ」は、該当する連邦政府の取得規制と代理店固有の補足規定に基づきます。このように、使用、複製、開示、変更、および適応は、適用される政府の契約に規定されている制限およびライセンス条項に従うものとし、政府契約の条項によって適当な範囲において、FAR 52.227-19、商用コンピュータソフトウェアライセンスの追加権利を規定します。

Informatica、Informatica Cloud、Informatica Intelligent Cloud Services、PowerCenter、PowerExchange、および Informatica ロゴは、米国およびその他の国における Informatica LLC の商標または登録商標です。Informatica の商標の最新リストは、Web (<https://www.informatica.com/trademarks.html>) にあります。その他の企業名および製品名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。

本ソフトウェアまたはドキュメンテーション（あるいはその両方）の一部は、第三者が保有する著作権の対象となります。必要な第三者の通知は、製品に含まれています。

本マニュアルの情報は、予告なしに変更されることがあります。このドキュメントで問題が見つかった場合は、infa_documentation@informatica.com までご報告ください。

Informatica 製品は、それらが提供される契約の条件に従って保証されます。Informatica は、商品性、特定目的への適合性、非侵害性の保証等を含めて、明示的または黙示的ないかなる種類の保証をせず、本マニュアルの情報を「現状のまま」提供するものとします。

発行日: 2024-05-20

目次

序文	4
Informatica のリソース	4
Informatica マニュアル	4
Informatica Intelligent Cloud Services Web サイト	4
Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティ	4
Informatica Intelligent Cloud Services マーケットプレイス	5
データ統合のコネクタのドキュメント	5
Informatica ナレッジベース	5
Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center	5
Informatica グローバルカスタマサポート	5
第 1 章 : 一括取り込みジョブの監視	6
取り込みジョブの監視	6
すべての取り込みジョブの監視	7
ジョブのプロパティ	10
取り込みジョブの詳細の表示	10
アプリケーション取り込みジョブの詳細	11
データベース統合ジョブの詳細	17
ファイル取り込みジョブの詳細	23
ストリーミング統合ジョブの詳細	26
索引	31

序文

デプロイしたタスクまたは組織のメンバーがデプロイしたすべてのタスクの取り込みジョブを確認および監視する方法については、「一括取り込みジョブの監視」をお読みください。

Informatica のリソース

Informatica は、Informatica Network やその他のオンラインポータルを通じてさまざまな製品リソースを提供しています。リソースを使用して Informatica 製品とソリューションを最大限に活用し、その他の Informatica ユーザーや各分野の専門家から知見を得ることができます。

Informatica マニュアル

Informatica マニュアルポータルでは、最新および最近の製品リリースに関するドキュメントの膨大なライブラリを参照できます。マニュアルポータルを利用するには、<https://docs.informatica.com> にアクセスしてください。

製品マニュアルに関する質問、コメント、ご意見については、Informatica マニュアルチーム (infa_documentation@informatica.com) までご連絡ください。

Informatica Intelligent Cloud Services Web サイト

Informatica Intelligent Cloud Services Web サイト (<http://www.informatica.com/cloud>) にアクセスできます。このサイトには、Informatica Cloud 統合サービスに関する情報が含まれます。

Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティ

Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティを使用して、技術的な問題について議論し、解決します。また、技術的なヒント、マニュアルの更新情報、FAQ（よくある質問）への答えを得ることもできます。

次の Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティにアクセスします。

<https://network.informatica.com/community/informatica-network/products/cloud-integration>

開発者は、次の Cloud 開発者コミュニティで詳細情報を確認したり、ヒントを共有したりできます。

<https://network.informatica.com/community/informatica-network/products/cloud-integration/cloud-developers>

Informatica Intelligent Cloud Services マーケットプレイス

Informatica マーケットプレイスにアクセスすると、データ統合コネクタ、テンプレート、およびマップレットを試用したり購入したりできます。

<https://marketplace.informatica.com/>

データ統合のコネクタのドキュメント

データ統合のコネクタのドキュメントには、マニュアルポータルからアクセスできます。マニュアルポータルを利用するには、<https://docs.informatica.com> にアクセスしてください。

Informatica ナレッジベース

Informatica ナレッジベースを使用して、ハウツー記事、ベストプラクティス、よくある質問に対する回答など、製品リソースを見つけることができます。

ナレッジベースを検索するには、<https://search.informatica.com> にアクセスしてください。ナレッジベースに関する質問、コメント、ご意見の連絡先は、Informatica ナレッジベースチーム (KB_Feedback@informatica.com) です。

Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center

Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center は、Informatica のセキュリティポリシーおよびリアルタイムでのシステムの可用性について情報を提供します。

Trust Center (<https://www.informatica.com/trust-center.html>) にアクセスします。

Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center にサブスクライブして、アップグレード、メンテナンス、およびインシデントの通知を受信します。[Informatica Intelligent Cloud Services Status](#) ページには、すべての Informatica Cloud 製品の実稼働ステータスが表示されます。メンテナンスの更新はすべてこのページに送信され、停止中は最新の情報が表示されます。更新と停止の通知がされるようにするには、Informatica Intelligent Cloud Services の 1 つのコンポーネントまたはすべてのコンポーネントについて更新の受信をサブスクライブします。すべてのコンポーネントにサブスクライブするのが、更新を逃さないようにするための最良の方法です。

サブスクライブするには、[Informatica Intelligent Cloud Services Status](#) ページで **【サブスクライブして更新】** をクリックします。電子メール、SMS テキストメッセージ、Webhook、RSS フィード、またはこの 4 つの任意に組み合わせとして送信される通知を受信するという選択ができます。

Informatica グローバルカスタマサポート

グローバルサポートセンターには、Informatica Network または電話でお問い合わせください。

Informatica Network でオンラインサポートリソースを検索するには、Informatica Intelligent Cloud Services のヘルプメニューで **【サポートにお問い合わせください】** をクリックして、**Cloud Support** ページに移動します。**Cloud Support** ページには、システムステータス情報とコミュニティディスカッションが記載されています。追加のリソースを検索する場合や電子メールで Informatica グローバルカスタマサポートに問い合わせる場合は、Informatica Network にログインし、**【サポートが必要な場合】** をクリックしてください。

Informatica グローバルカスタマサポートの電話番号は、Informatica の Web サイト <https://www.informatica.com/services-and-training/support-services/contact-us.html> に掲載されています。

第 1 章

一括取り込みジョブの監視

一括取り込みサービスおよびオペレーションインサイトサービスから、取り込みジョブの進行状況、パフォーマンス、およびステータスを監視できます。

使用するサービスおよび取り込みジョブのタイプにより、次の監視情報を表示できます。

- 一括取り込みサービスの【マイジョブ】ページで、デプロイした取り込みタスクの取り込みジョブを監視します。タスクタイプ、ランタイム環境、開始時刻、継続時間、現在のジョブの状態などの、ジョブの全般プロパティを含む、ジョブのリストを表示できます。
- オペレーションインサイトサービスの【一括取り込み】ページで、組織のメンバがデプロイした取り込みジョブのすべてのタイプを監視します。次のタイプの情報を表示できます。
 - タスクタイプおよびジョブの状態ごとの、取り込みジョブの概数。
 - 失敗したジョブ、またはエラーあるいは警告ありの状態で行われているために注意が必要な最近のジョブ。
 - ジョブの全般プロパティを含む、タイプごとのすべての取り込みジョブのリスト。
- 自分のジョブのリストまたはすべてのジョブのリストから、ジョブ名をクリックして、特定のジョブの詳細をドリルダウンできます。概要ジョブ情報、ソースオブジェクト処理の詳細、および警告を表示できます。

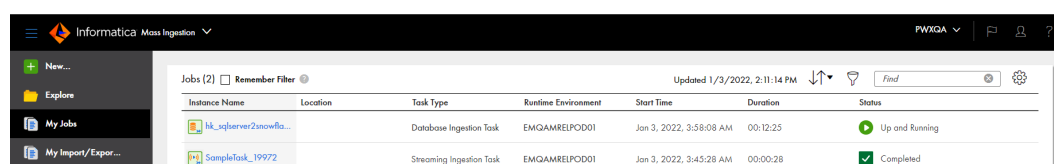
注: 通常、ジョブ名は取り込みタスク名に対応します。アプリケーション取り込みジョブとデータベース統合ジョブの場合、ジョブ名は *taskname-job_instance_number* の形式になります。数字はジョブがデプロイされるたびに増加します。

取り込みジョブの監視

一括取り込みの【マイジョブ】ページでは、デプロイしたタスクの取り込みジョブを監視できます。アプリケーション取り込みタスク、データベース統合タスク、ファイル取り込みタスク、ストリーミング統合タスクなどの、複数のタイプの取り込みタスクを定義した場合、リストにはすべてのタスクタイプのジョブが含まれます。

【マイジョブ】ページには、ステータスなど、各ジョブインスタンスに関する情報が表示されます。

例えば、次の画像はデータベース統合ジョブとストリーミング統合ジョブが表示されている【マイジョブ】ページを示しています。



Instance Name	Location	Task Type	Runtime Environment	Start Time	Duration	Status
tk_sqlserver2snowfla...		Database Ingestion Task	EMGAMREPOD01	Jan 3, 2022, 3:58:08 AM	00:12:25	Up and Running
SampleTask_19972		Streaming Ingestion Task	EMGAMREPOD01	Jan 3, 2022, 3:45:28 AM	00:00:28	Completed

カラムの説明については、「[ジョブのプロパティ](#)」(ページ 10)を参照してください。これらのカラムは、オペレーションインサイトの「**一括取り込み**」ページにある「**すべてのジョブ**」タブのすべての取り込みジョブに対して表示されたものと同じです。

長いリストでジョブを検索するには、次のいずれかの方法を使用します。

- 一覧表示されたジョブをソートするには、カラムの見出しをクリックするか、[ソート] アイコンをクリックして、ソートするフィールドを選択します。アプリケーション取り込みジョブ、データベース取り込みジョブ、ストリーミング取り込みジョブのデフォルトのソート順は、タスクがデプロイされた時刻の順です（最新のものから表示）。ファイル取り込みジョブのデフォルトのソート順は、ジョブの開始時刻（最新から表示）です。
- ジョブインスタンス名に基づいてジョブを検索するには、**[検索]** テキストボックスにジョブ名または名前の一部を入力します。名前的一部分を入力すると、検索操作はインスタンス名の任意の場所にその文字列があるかどうかを検索します。一括取り込みでは、インスタンス名の検索文字列にパーセント記号 (%) ワイルドカードを含めて、「ing2%798」などの 1 つ以上の文字を表すようにすることができます。次の記号は含めないでください: 疑問符 (?)、番号記号 (#)、またはアンパサンド (&)。これらの記号のいずれかを含めると、検索操作は結果を返しません。
- ジョブのリストをフィルタするには、**[フィルタ]** アイコンをクリックします。**[フィルタの追加]** をクリックし、リストされた 1 つ以上のフィールドのフィルタ条件を入力します。**[インスタンス名]** フィールドに、完全なインスタンス名または名前的一部分を入力できます。一括取り込みでは、インスタンス名の値にパーセント記号 (%) ワイルドカードを含めて、「vp%test3」など名前の中の 1 つ以上の文字を表すようにすることができます。フィルタは、変更されるまで、現在のセッションの自分のユーザー名に対してのみ保存されます。一括取り込みでは、**[フィルタを記憶]** チェックボックスを選択することで、今後のセッション用にフィルタを保存できます。既存のフィルタ条件をクリアするには、フィルタアイコンをもう一度クリックします。

各ジョブ行の右端にあるアクション (...) メニューから、ジョブのステータスとタスクタイプに応じて、ジョブに対していくつかのアクションを実行できます。

すべての取り込みジョブの監視

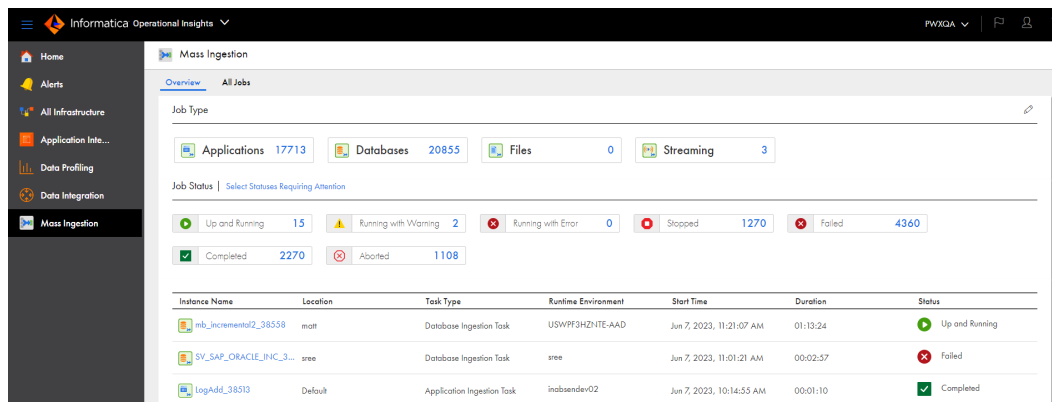
オペレーションインサイトサービスの「**一括取り込み**」ページでは、アプリケーション取り込みジョブ、データベース統合ジョブ、ファイル取り込みジョブ、およびストリーミング統合を含む、一括取り込みサービスからデプロイされたすべての取り込みジョブを監視できます。

「**一括取り込み**」ページには、以下のタブがあります。

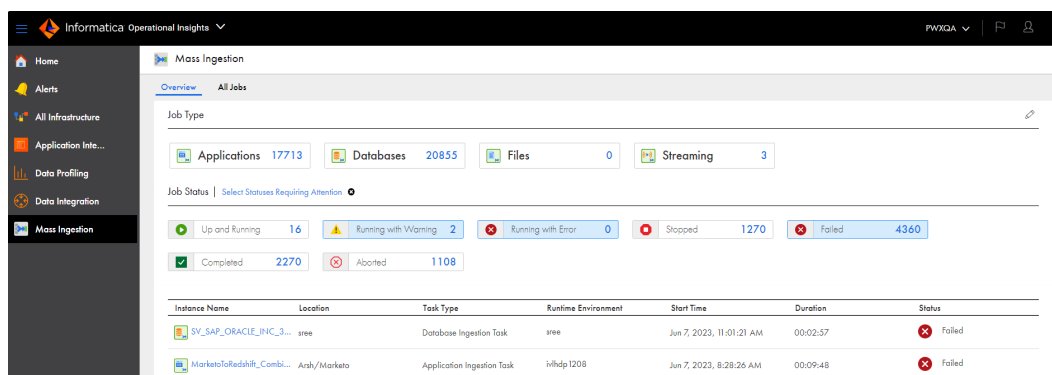
- [概要]** タブには、取り込みジョブのリストにジョブタイプと状態でフィルタを適用するために使用するボタンが表示されます。
- [すべてのジョブ]** タブには、組織内のメンバが作成およびデプロイしたすべてのタイプの取り込みジョブが表示されます。これには一括取り込みサービスの「**マイジョブ**」ページと同じカラムのプロパティが含まれます。

[概要] タブ

[概要] タブは、最初にすべてのステータスのすべてのタイプの取り込みジョブを一覧表示します。各ボタンには、そのジョブタイプまたはそのステータスのジョブの数が表示されます。以下に例を示します。



上部のボタンを使用してジョブタイプとステータスでジョブをフィルタリングするか、**【注意が必要なステータスの選択】**をクリックして、関心のあるステータスのジョブのみを表示します。次の例は、注意が必要なステータスのすべてのジョブを表示する**【概要】**タブを示しています。



【概要】 タブに表示されるステータスボタンを制御するには、**【編集】**（鉛筆）アイコンをクリックします。次に、**【ジョブステータスの並べ替え】** ダイアログボックスで、ボタンとジョブを表示するそれぞれのジョブステータスの横にある**【表示】** チェックボックスをオンにします。

ジョブステータスボタンの順序を変更するには、**【編集】**（鉛筆）アイコンをクリックします。次に、**【ジョブステータスの並べ替え】** ダイアログボックスで、ジョブステータスの行を選択して上下にドラッグします。

【概要】 タブでジョブのリストにフィルタを適用するには、次のいずれかの方法を使用します。

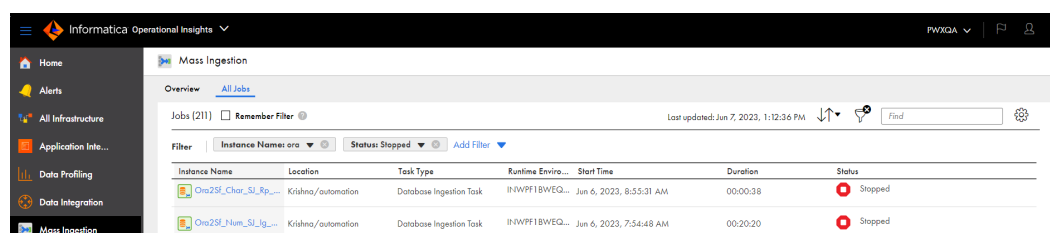
- アプリケーション取り込みジョブ、データベース統合ジョブ、ファイル取り込みジョブ、またはストリーミング統合ジョブのみを表示するには、ジョブタイプのボタンをクリックします。選択したボタンは青色で強調表示されます。すべてのタイプの取り込みジョブを再度表示するには、選択したボタンをもう一度クリックします。ジョブタイプのステータスフィルタを選択した場合、ジョブタイプの選択を解除すると、それらのフィルタもクリアされます。
- 特定のジョブステータスに一致するジョブを表示するには、ステータスボタンをクリックします。特定のジョブタイプとステータスのジョブを表示する場合は、まずジョブタイプを選択してから、ステータスを選択します。**【概要】** タブで複数のステータスボタンを同時に選択することはできません。フィルタをクリアするには、選択したステータスボタンをもう一度クリックします。
- 注意が必要なステータスのすべてのジョブを表示するには、ジョブステータスボタンの上にある**【注意が必要なステータスの選択】**をクリックします。このオプションにより、**【失敗】**または**【実行中（警告あり）】**状態のアプリケーション取り込みジョブあるいはデータベース統合ジョブ、または**【失敗】**状態のファイル取り込みジョブ、あるいは**【実行中（エラーあり）】**または**【実行中（警告あり）】**状態のストリーミング統合ジョブが一覧表示されます。フィルタをクリアするには、もう一度**【注意が必要なステータスの選択】**をクリックします。特定のジョブタイプの注意が必要なジョブを表示する場合は、まずジョブタイプを選択してから、**【注意が必要なステータスの選択】**をクリックします。

注: [概要] タブまたは [ジョブステータスの並べ替え] ダイアログボックスで設定したすべてのフィルタは、現在のセッションでのみ、またはセッション中に変更するまでアクティブです。

[すべてのジョブ] タブ

[すべてのジョブ] タブには、ジョブインスタンス名、タスクタイプ、ランタイム環境、およびステータスによるオプションのフィルタリングを使用して、すべての取り込みジョブが一覧表示されます。ジョブのステータスに応じて、このタブからジョブに対して停止、デプロイ解除、再デプロイ、実行、再開などのアクションを実行することもできます。

例えば、次の図は、[すべてのジョブ] タブがフィルタリングされ、「ora」を含む名前と [停止] ステータスを持つジョブインスタンスが表示された状態を示しています。



ジョブのリストが長い場合は、次のいずれかの方法を使用して、ジョブを見つけやすくします。

- 一覧表示されたジョブをソートするには、カラムの見出しをクリックするか、[ソート] の上/下矢印アイコンをクリックして、ソートするフィールドを選択します。アプリケーション取り込みジョブ、データベース統合ジョブ、ストリーミング統合ジョブのデフォルトのソート順は、タスクがデプロイされた時刻の順です（最新のものから表示）。ファイル取り込みジョブのデフォルトのソート順は、ジョブが開始された時刻の順です（最新のものから表示）。
- ジョブインスタンス名に基づいてジョブを検索するには、[検索] テキストボックスにジョブ名または名前の一部を入力します。名前的一部分を入力すると、検索操作はインスタンス名の任意の場所にその文字列があるかどうかを検索します。オペレーションインサイトでは、インスタンス名の検索文字列にパーセント記号 (%) ワイルドカードを含めて、「ing2%798」などの 1 つ以上の文字を表すことができます。次の記号は含めないでください: 疑問符 (?), 番号記号 (#), またはアンパサンド (&)。これらの記号のいずれかを含めると、検索操作は結果を返しません。
- ジョブのリストをフィルタするには、[フィルタ] アイコンをクリックします。[フィルタの追加] をクリックし、1 つ以上のフィールドのフィルタ条件を入力します。[インスタンス名] フィールドに、完全なジョブインスタンス名または名前的一部分を入力できます。オペレーションインサイトでは、インスタンス名の値にパーセント記号 (%) ワイルドカードを含めて、「vp%test3」など名前の中の 1 つ以上の文字を表すことができます。フィルタは、変更されるまで、現在のセッションの自分のユーザー名に対してのみ保存されます。オペレーションインサイトでは、[フィルタを記憶] チェックボックスを選択することで、今後のセッション用にフィルタを保存できます。既存のフィルタ条件をクリアするには、フィルタアイコンをもう一度クリックします。

注: リスト内の行の間隔を変更するには、[検索] ボックスの右にある [設定] アイコンをクリックします。

ジョブのステータスとタスクタイプに応じて、ジョブに対していくつかのアクションを実行できます。各ジョブ行の右端にあるアクション (...) メニューから、アクションタイプを選択します。

ジョブのプロパティ

一括取り込みサービスの【マイジョブ】ページとオペレーションインサイトの【一括取り込み】ページの【すべてのジョブ】タブの取り込みジョブリストには、各ジョブのプロパティが表示されます。プロパティには、ジョブステータスの概要が表示されます。

以下の表に、ジョブのプロパティを示します。

プロパティ	説明
インスタンス名	生成されるジョブインスタンスの名前の形式は、<task_name>_<instance_number>です。 インスタンス名をクリックすると、ジョブに関する詳細情報を表示できます。 注: 関連する取り込みタスクの名前を編集しても、ジョブ名は同じままです。
場所	ジョブに関連付けられたタスク定義があるプロジェクトまたはプロジェクト\サブフォルダ。例: Myproject\Oracle 注: このプロパティは、Fall 2020 リリースよりも以前にデプロイされたジョブでは空白になります。 タスク定義を別のフォルダに移動した場合、【ロケーション】値は更新されません。
タスクタイプ	取り込みタスクのタイプ。この値は、 アプリケーション取り込みタスク 、 データベース取り込みタスク 、 ファイル取り込みタスク 、または ストリーミング取り込みタスク である必要があります。
ランタイム環境	ジョブが実行するランタイム環境の名前。
開始時刻	アプリケーション取り込みジョブおよびデータベース統合ジョブの場合、ジョブがデプロイされた日時。 ファイル取り込みジョブの場合、ジョブが開始された日時。 ストリーミング統合ジョブの場合、ジョブがデプロイされた日時。
継続時間	アプリケーション取り込みジョブおよびデータベース統合ジョブの場合、デプロイ後にジョブが実行された時間。完了、停止、失敗、または強制終了状態のジョブの場合、ジョブがデプロイされた日時から現在の状態を取得した時点までの時間。 ファイル取り込みジョブの場合、ジョブが実行された時間。 ストリーミング統合ジョブの場合、ジョブが実行された時間。
ステータス	デプロイ中、稼働中、またはアンデプロイ済みなどの、ジョブの現在のステータス。 有効なステータスのセットは、取り込みタスクのタイプにより異なります。詳細については、 「アプリケーション取り込みジョブの詳細」 （ページ 11）、 「データベース統合ジョブの詳細」 （ページ 17）、 「ファイル取り込みジョブの詳細」 （ページ 23）（「結果」セクション）、または 「ストリーミング統合ジョブの詳細」 （ページ 26）の「[ジョブの概要] タブ」セクションを参照してください。

取り込みジョブの詳細の表示

一括取り込みサービスの【マイジョブ】ページ、またはオペレーションインサイトサービスの【一括取り込み】ページの【すべてのジョブ】タブで、特定の取り込みジョブをドリルダウンしてジョブの詳細を表示できます。

ジョブの詳細を表示するには、ジョブリストのジョブ名をクリックします。そのジョブのページが表示されます。表示される詳細は、取り込みジョブのタイプによって変わります。

アプリケーション取り込みジョブの詳細

アプリケーション取り込みジョブでは、**【タスクサマリ】**、**【オブジェクトの詳細】**、および **【警告】** パネルでジョブに特有の詳細を表示できます。これらのパネルにアクセスするには、**一括取り込み**サービスの一括取り込みページ、または **Operational Insights** サービスの一括取り込みページのオペレーションインサイトタブから、ジョブをドリルダウンします。

【警告】 パネルは、増分ロード、および初期ロードと増分ロードの組み合わせジョブの場合にのみ表示されます。

注: **【タスクサマリ】**、**【オブジェクトの詳細】**、および **【警告】** パネルは、パネル名の横にある展開矢印をクリックして展開または折りたたむことができます。

タスクサマリ

【タスクサマリ】 パネルには、関連するタスク名、ロードタイプ、ソースおよびターゲットの接続名、現在のステータス、読み取りおよび書き込みのレコード数、開始時刻と終了時刻、および実行期間などのジョブ全体の詳細情報が表示されます。増分ロードジョブ、および初期ロードと増分ロードの組み合わせジョブの場合は、ジョブログをダウンロードすることもできます。

- 右上隅の **【ステータス】** フィールドにはジョブのステータスが表示されます。ジョブのステータスは次のいずれかの値になります。
 - **稼働中**。ジョブは実行中です。
 - **実行中（警告あり）**。ジョブは実行中ですが警告があります。この状態は、1 つ以上のテーブル固有サブタスクが失敗し、一部のサブタスクが実行中であるときにも発生します。
 - **保留**。一括取り込みデータベース（DBMI）エージェントの更新中にジョブが一時停止状態になっています。
 - **停止中**。停止要求への応答として、ジョブを停止中です。
 - **停止**。ジョブが意図的に停止されました。
 - **失敗**。ジョブは異常終了しました。ジョブへのタスクデプロイメントが失敗したか、1 つ以上のテーブル固有サブタスクが失敗しました。また、初期ロードジョブの場合は、ジョブが停止しました。
 - **デプロイ中**。ジョブはデプロイ中です。
 - **デプロイ**。ジョブはデプロイされました。
 - **強制終了中**。強制終了要求への応答として、ジョブが直ちに停止されようとしている状態です。
 - **強制終了**。ジョブは強制終了されました。
 - **デプロイ解除中**。ジョブはデプロイ解除中です。
 - **デプロイ解除**。ジョブはデプロイ解除されました。
 - **完了**。ジョブが正常に完了しました。
- ページの上部の図には、ソースコネクタのタイプと接続名、およびターゲットコネクタのタイプと接続名が表示されます。また、ジョブの現在のステータスに関係なく、ジョブがターゲットにデータを正常にレプリケートした場合の計算されたデータスループットも 1 秒あたりの行数として表示されます。算出値が 0 の場合は、データがターゲットにレプリケートされていないことを示し、スループットは表示されません。

また、増分ロードジョブ、および初期ロードと増分ロードの組み合わせジョブの場合は、ジョブの実行全体に関するジョブ実行ログをダウンロードできます。図の下の **【ログの選択】** リストで、次のログタイプのいずれかを選択します。

 - **完全なログ**。すべてのタイプのメッセージを含むログ全体。状態に関係なく、実行した任意のジョブに対して利用できます。

- **エラー**。発生したエラーに関するメッセージのみを含むエラーログ。失敗したジョブに対してのみ利用できます。このログを使用して、デプロイ失敗などジョブが失敗した理由を判断します。ログファイルの末尾に省略記号 (...) が付いている場合、このログは長さの制限により切り詰められています。この場合、すべてのエラーメッセージを確認するには完全なログをダウンロードします。

次に、[ダウンロード] アイコンをクリックします。

注: 初期ロードジョブの場合、[オブジェクトの詳細] タブから特定のソースオブジェクトのジョブログを取得できます。

- **[サマリ]** で、ジョブに関するサマリ情報を確認できます。

円形の図に、ソーステーブルのサブタスクの数がステータスごとに表示されます。この円の縁の色はステータスに対応します。

次の表に、ジョブのプロパティと統計のサマリを示します。

プロパティ	説明
ランタイム環境	ジョブの実行で使用されるランタイム環境の名前。
タスク名	関連取り込みタスクの名前。必要に応じて、タスク名のリンクをクリックして、一括取り込みでタスクの詳細を表示または編集できます。タスクを編集する場合は、更新されたタスク定義をジョブで使用するために、タスクを再デプロイする必要があります。
ロードタイプ	ジョブが実行するロード操作のタイプ。次のオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> - 初期ロード。特定のポイントインタイムでターゲットが読み取るソースデータのスナップショットをロードします。 - 増分ロード。ジョブが停止または終了するまで、ターゲットに対する増分データ変更を継続的にロードします。 - 初期および増分ロード。初期ロードを実行し、次に増分ロードに自動的に切り替えます。
タスクタイプ	タスクのタイプ。このタスクは [アプリケーション取り込みタスク] です。
タスクの場所	取り込みタスク定義を含むプロジェクトまたはプロジェクトフォルダ。
開始したユーザー名	ジョブを開始したユーザーの名前。
読み取ったレコード数	ソースから読み取られたレコード数。 注: 初期ロードジョブと増分ロードジョブの組み合わせの場合、[読み取ったレコード数] のカウントが、書き込まれたオブジェクトレベルの DML 変更レコードの総数よりも大きい場合があります。この動作は、変更データキャプチャが開始された後に、初期ロードまたは再同期処理が常に開始されるために発生します。その結果、いくつかの変更レコードが [読み取ったレコード数] のカウントに含まれ、それらは初期ロードまたは再同期処理が開始される前に破棄されます。これらの破棄されたレコードにより、[書き込んだレコード数] のカウントが [読み取ったレコード数] カウントよりも少なくなります。
書き込んだレコード数	ターゲットに正常にレプリケートされたレコードの数。 注: ソースレコードが破棄されると、[書き込んだレコード数] の値が [読み取ったレコード数] の値と合わない場合があります。例えば、初期ロードジョブと増分ロードジョブの組み合わせでは、初期アンロードフェーズが完了する前にソースから読み取られた変更レコードは、まだ必要でないために破棄されます。

プロパティ	説明
サブタスク	データをソーステーブルからターゲットにレプリケートするためにアプリケーション取り込みジョブが使用したサブタスクの数。ジョブを実行すると、各ソーステーブルを処理するために個別のサブタスクが使用されます。
スケジュール	初期ロードジョブについては、ジョブの実行に使用されるスケジュールの名前、またはジョブを手動で実行する場合は「スケジュールなし」。
継続時間 (左下隅)	ジョブが終了するまでの実行時間（hh:mm:ss 形式）。
開始時刻 (左下隅)	ジョブがデプロイされた日時。
終了時刻 (左下隅)	処理完了、停止、または失敗したためにジョブが終了した日時。このフィールドは、実行中のジョブの場合は表示されません。

オブジェクトの詳細

【オブジェクトの詳細】 パネルには、ソーステーブルのサブタスクがリストされます。アプリケーション取り込みジョブの最後の実行からのソーステーブルごとに統計とステータス情報を表示することができます。オブジェクト名の横にある展開矢印をクリックすると、テーブルで処理された挿入、更新、削除、および LOB 変更の数が表示されます。

次の図に、[オブジェクトの詳細] パネルの例を示します。

Object Detail (3)					Find	
Object	Target Object	Stage	Status	Log		
▶ MARETO Program	AREH_MARETO.APMAL_1_INFSH_Program_Module	Shipped	Stopped	Select Log		
▼ MARETO SessCampaign	AREH_MARETO.APMAL_1_INFSH_SessCampaign_Module	Shipped	Stopped	Select Log		
Inserts	Updates	Deletes	LOBs	Unload Count		
1	10	0	0	0		

注: このパネルには、最新のジョブ実行に関する情報が表示されます。実行されていないジョブまたは再開中のジョブの場合、このタブは空白になります。

次の表に、ロードタイプとステータスに応じて、各テーブルで表示される【オブジェクトの詳細】フィールドを示します。

カラム	説明
オブジェクト	<p>ターゲットにプロパゲートされたデータのソーステーブルまたはビューの名前。</p> <p>増分ロードジョブまたは初期および増分ロードジョブの組み合わせの場合、オブジェクト名の左にある矢印アイコンをクリックすると、処理された挿入、削除、更新、LOB および DDL 文の数の詳細が表示されます。初期および増分ロードジョブの組み合わせの場合は【アンロード数】フィールドも表示され、処理の初期ロード部分によってソースから読み取られたレコード数が示されます。詳細な CDC カウントを使用する場合は以下の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 現在のジョブ実行のみカウントされます。ジョブを停止して再開すると、カウントはゼロから再開されます。これらのカウントを使用してターゲットに書き込まれた行数を確認しないでください。 - カウントはソースから読み取られた行数に基づいており、ターゲットに書き込まれたレコード数を反映していません。ターゲットの書き込み操作は、操作を組み合わせる物理的な書き込み回数を減らすことで最適化される場合があります。この場合、カウントは書き込み操作数と一致しないことがあります。 - 値 N/A は、カウント値がそのカウントタイプで使用できないか、値がまだ計算されていないことを示しています。 - アンロード処理の開始には遅延が発生するため、【アンロード数】にはジョブの開始時や再同期時のソースレコード数が反映されない場合があります。アンロード要求からアンロード処理の開始までの間に、行がソーステーブルに追加されたり、ソーステーブルから削除されることがあります。
ターゲットオブジェクト	ソースオブジェクトにマッピングされているターゲットオブジェクトの名前。
読み取ったレコード数	初期ロードジョブの場合、ソースから読み取られたレコード数。その他のロードタイプの場合、この情報は【 ジョブの概要 】タブでジョブレベルでのみ利用できます。
書き込んだレコード数	<p>初期ロードジョブの場合は、ターゲットに正常に書き込まれたレコードの数。その他のロードタイプの場合、この情報は【ジョブの概要】タブでジョブレベルでのみ利用できます。</p> <p>注: ソースから読み取られた一部のレコードが破棄された場合、【読み取ったレコード数】の値が【書き込んだレコード数】の値よりも大きくなる場合があります。例えば、初期ジョブと増分ジョブの組み合わせの場合、ジョブの初期アンロードフェーズが完了する前に読み取られたソース変更レコードは破棄されます。</p>
タスク時間	<p>初期ロードジョブの場合、ソーステーブルを処理したサブタスクが完了または停止するまでの実行時間。その他のロードタイプの場合、この情報は【ジョブの概要】タブでジョブレベルでのみ利用できます。</p> <p>ジョブを実行すると、各ソーステーブルを処理するために個別のサブタスクが使用されます。</p>

カラム	説明
ステージ	<p>初期および増分ロードジョブの組み合わせの場合、このカラムには、テーブル固有のジョブサブタスクの初期ロード処理から CDC 処理への遷移におけるステージが表示されます。その他のロードタイプの場合、このカラムは表示されません。</p> <p>ステージは、次の値のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 開始されていません。 テーブルの初期ロード処理が開始されていないか、エラーが発生し、テーブルが 【再試行時にエラー】 状態である場合は、次のテーブル処理が開始されていません。 - 開始。 初期ロード処理が開始されました。 - アンロード中。 サブタスクが、初期ロード処理の一環として、テーブルからデータをアンロード中です。 - アンロード済み。 サブタスクが、初期ロード処理の一環として、テーブルからデータのアンロードを終了しました。 - 完了。 サブタスクが、テーブルの初期ロード処理を完了しました。 - ノーマル。 サブタスクが、テーブルの初期ロード処理を完了し、テーブルの CDC 処理を開始しました。 - キャンセル済み。 初期ロード処理がキャンセルまたは停止しました。 - エラー。 サブタスクが、ソーステーブルでエラーを検出しました。 <p>【アクション】メニューの【再同期】</p> <p>初期および増分ロードジョブの組み合わせのサブタスクについては、サブタスクのステージが 【ノーマル】 でサブタスクのステータスが 【キューに格納】 または 【開始中】 以外のステータスである場合、サブタスク行の右端に 【アクション】メニュー が表示されます。【アクション】メニュー から 【再同期】 を選択すると、ソースオブジェクトとターゲットオブジェクトを再同期できます。詳細については、一括取り込みのヘルプにあるソースオブジェクトとターゲットオブジェクトの再同期に関する説明を参照してください。</p>

カラム	説明
ステータス	<p>ソースオブジェクトのジョブサブタスクのステータス。</p> <p>注: ジョブが実行を停止した場合、サブタスクのステータスには、ジョブの終了前に最後に収集されたステータスが反映されます。例えば、ジョブが強制終了されても、サブタスクのステータスは「実行中」となることがあります。</p> <p>状態は、次の値のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - キューに格納。 サブタスクの実行が開始されていません。 - 開始中。 サブタスクが開始中です。 - 開始。 初期および増分ロードジョブの組み合わせの場合に、サブタスクが開始されました。 - 実行中。 サブタスクが実行中です。 - 保留。 一括取り込みデータベース (DBMI) エージェントの更新中に、ジョブだけでなくサブタスクも一時停止状態になっています。 - 完了。 サブタスクが処理を正常に完了しました。 - 停止中。 停止要求への応答として、サブタスクが停止しようとしています。 - 停止。 サブタスクが停止されました。 - 強制終了中。 強制終了要求への応答として、サブタスクが直ちに終了しようとしています。 - 強制終了。 サブタスクが強制終了されました。 - 失敗。 サブタスクが予期せず終了しました。 - エラー。 サブタスクでエラーが発生したため、データがターゲットテーブルに書き込まれなくなりました。初期および増分ロードジョブの組み合わせの場合、サブタスクは実行中で増分変更データを処理している可能性があります。データはターゲットに送信されていません。 - 再試行時にエラー。 サブタスク処理の最後の再試行時にエラーが発生し、現在は、サブタスクは処理の再試行を待機中です。 <p>注: ソーステーブルで DDL の変更が行われた後にジョブを再開すると、最初の DML 操作がソーステーブルで実行されるまではテーブルサブタスクの状態が正しく更新されない場合があります。</p>
ログ	<p>ソースオブジェクトのジョブ実行ログをダウンロードできます。ログのタイプと可用性は、負荷のタイプとステータスによって異なります。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 完了。 ジョブの実行で生成されるオブジェクトサブタスクの完全なログ。このログタイプは、初期ロードジョブの「完了」、失敗、または強制終了のサブタスクで使用できます。 - エラー。 エラーメッセージを含むログ。このログタイプは、初期ロードジョブまたは増分ロードジョブの失敗またはエラーのサブタスクでのみ使用できます。 - ステージログ。 ソースオブジェクトの初期ロードと増分ロードの組み合わせジョブの初期処理フェーズから増分処理フェーズへの移行をカバーするログ。 <p>ログをダウンロードするには、ダウンロード アイコンをクリックします。</p> <p>注: ジョブをデプロイ解除した場合は、関連タスクを削除していない場合にのみ、テーブルのログをダウンロードできます。</p> <p>増分ロードジョブの場合は、タスクサマリ パネルから、ジョブ実行全体の完全なログとエラーログを取得できます。</p>

注: リスト内の行の間隔を制御するには、**検索** ボックスの横にある**設定** アイコンをクリックします。

アラート

【警告】 パネルは、選択した増分ロードジョブ、または初期ロードと増分ロードの組み合わせジョブの場合、オペレーションインサイトの**一括取り込み** ページに表示されます。**【警告】** パネルでは、増分ロード中、または初期ロードと増分ロードの組み合わせ処理中に、ソーススキーマの変更などの特定のイベントに対して表示される警告メッセージを確認できます。

アプリケーション取り込みの**アラート** > **一括取り込みアラート** ページから、オペレーションインサイトジョブのアラート通知を設定することができます。これにより、オペレーションインサイトは、取り込みジョブが設定されたステータスのいずれかを取得するか、DDL 変更を検出するたびに、選択したユーザーおよびユーザーグループに一括取り込みの警告通知を送信します。

注: 関連するタスクのスキーマドリフトオプションを**無視** に設定している場合でも、**【警告】** パネルには、検出されたすべてのスキーマ変更に対する警告メッセージが表示されます。

重要度または日付範囲に基づいて警告のリストをフィルタリングできます。日付範囲を指定するには、【フィルタ】フィールドに次のいずれかのタイプの値を入力します。

- 保存されたすべての警告に対する【任意の時間】。
- 当日の午前 0 時から午後 11 時 59 分までに発行された警告に対する【今日】。
- 先週、先月、または昨年の初めから現在までの警告を示す【先週】、【先月】、または【昨年】。
- 開始日時と終了日時から構成されるカスタムの日付範囲を指定する【カスタム】。

警告のリストには次のコラムが含まれています。

コラム	説明
レベル	警告メッセージの重要度レベル（「重大」または「警告」など）。
コード	警告のタイプを識別する英数字コードで、その後にイベントが発生した日時が続きます。

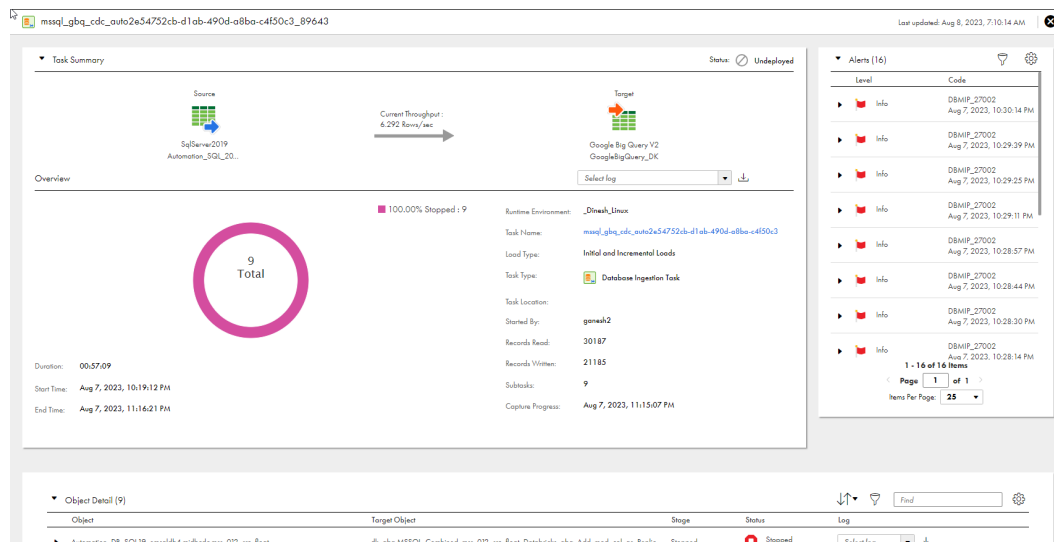
展開矢印をクリックすると、イベントの説明が表示されます。

データベース統合ジョブの詳細

データベース統合ジョブでは、【タスクサマリ】、【オブジェクトの詳細】、および【警告】パネルでジョブに特有の詳細を表示できます。これらのパネルにアクセスするには、一括取り込みサービスの一括取り込みページ、または **Operational Insights** サービスの一括取り込みページのオペレーションインサイトタブから、ジョブをドリルダウンします。

【警告】パネルは、増分ロード、および初期ロードと増分ロードの組み合わせジョブの場合にのみ表示されます。

次の図に、このパネルの全体を示します。



注: 【タスクサマリ】、【オブジェクトの詳細】、および【警告】パネルは、パネル名の横にある展開矢印をクリックして展開または折りたたむことができます。

タスクサマリ

【タスクサマリ】パネルには、関連するタスク名、ロードタイプ、ソースおよびターゲットの接続名、現在のステータス、読み取りおよび書き込みのレコード数、開始時刻と終了時刻、および実行期間などのジョブ全体の

詳細情報が表示されます。増分ロードジョブ、および初期ロードと増分ロードの組み合わせジョブの場合は、ジョブログをダウンロードすることもできます。

- 右上隅の【ステータス】フィールドにはジョブのステータスが表示されます。ジョブのステータスは次のいずれかの値になります。
 - 稼働中。ジョブは実行中です。
 - 実行中（警告あり）。ジョブは実行中ですが警告があります。この状態は、1 つ以上のテーブル固有サブタスクが失敗し、一部のサブタスクが実行中であるときにも発生します。
 - 保留。一括取り込みデータベース（DBMI）エージェントの更新中にジョブが一時停止状態になっています。
 - 停止中。停止要求への応答として、ジョブを停止中です。
 - 停止。ジョブが意図的に停止されました。
 - 失敗。ジョブは異常終了しました。ジョブへのタスクデプロイメントが失敗したか、1 つ以上のテーブル固有サブタスクが失敗しました。また、初期ロードジョブの場合は、ジョブが停止しました。
 - デプロイ中。ジョブはデプロイ中です。
 - デプロイ。ジョブはデプロイされました。
 - 強制終了中。強制終了要求への応答として、ジョブが直ちに停止されようとしている状態です。
 - 強制終了。ジョブは強制終了されました。
 - デプロイ解除中。ジョブはデプロイ解除中です。
 - デプロイ解除。ジョブはデプロイ解除されました。
 - 完了。ジョブが正常に完了しました。

- ページの上部の図には、ソースコネクタのタイプと接続名、およびターゲットコネクタのタイプと接続名が表示されます。また、ジョブの現在のステータスに関係なく、ジョブがターゲットにデータを正常にレプリケートした場合の計算されたデータスループットも 1 秒あたりの行数として表示されます。算出値が 0 の場合は、データがターゲットにレプリケートされていないことを示し、スループットは表示されません。

また、増分ロードジョブ、および初期ロードと増分ロードの組み合わせジョブの場合は、ジョブの実行全体に関するジョブ実行ログをダウンロードできます。図の下に [ログの選択] リストで、次のログタイプのいずれかを選択します。

- 完全なログ。すべてのタイプのメッセージを含むログ全体。状態に関係なく、実行した任意のジョブに対して利用できます。
- エラー。発生したエラーに関するメッセージのみを含むエラーログ。失敗したジョブに対してのみ利用できます。このログを使用して、デプロイ失敗などジョブが失敗した理由を判断します。ログファイルの末尾に省略記号 (...) が付いている場合、このログは長さの制限により切り詰められています。この場合、すべてのエラーメッセージを確認するには完全なログをダウンロードします。

次に、[ダウンロード] アイコンをクリックします。

注: 初期ロードジョブの場合、【オブジェクトの詳細】タブから特定のソースオブジェクトのジョブログを取得できます。

- 【サマリ】で、ジョブに関するサマリ情報を確認できます。

円形の図に、ソーステーブルのサブタスクの数がステータスごとに表示されます。この円の縁の色はステータスに対応します。

次の表に、ジョブのプロパティと統計のサマリを示します。

プロパティ	説明
ランタイム環境	ジョブの実行で使用されるランタイム環境の名前。
タスク名	関連取り込みタスクの名前。必要に応じて、タスク名のリンクをクリックして、一括取り込みでタスクの詳細を表示または編集できます。タスクを編集する場合は、更新されたタスク定義をジョブで使用するために、タスクを再デプロイする必要があります。
ロードタイプ	ジョブが実行するロード操作のタイプ。次のオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> - 初期ロード。特定のポイントインタイムでターゲットが読み取るソースデータのスナップショットをロードします。 - 増分ロード。ジョブが停止または終了するまで、ターゲットに対する増分データ変更を継続的にロードします。 - 初期および増分ロード。初期ロードを実行し、次に増分ロードに自動的に切り替えます。
タスクタイプ	タスクのタイプ。 データベース取り込みタスク です。
タスクの場所	取り込みタスク定義を含むプロジェクトまたはプロジェクトフォルダ。
開始したユーザー名	ジョブを開始したユーザーの名前。
読み取ったレコード数	ソースから読み取られたレコード数。 注: 初期ロードジョブと増分ロードジョブの組み合わせの場合、[読み取ったレコード数]のカウントが、書き込まれたオブジェクトレベルの DML 変更レコードの総数よりも大きい場合があります。この動作は、変更データキャプチャが開始された後に、初期ロードまたは再同期処理が常に開始されるために発生します。その結果、いくつかの変更レコードが [読み取ったレコード数] のカウントに含まれ、それらは初期ロードまたは再同期処理が開始される前に破棄されます。これらの破棄されたレコードにより、[書き込んだレコード数] のカウントが [読み取ったレコード数] カウントよりも少なくなります。
書き込んだレコード数	ターゲットに正常にレプリケートされたレコードの数。 注: ソースレコードが破棄されると、[書き込んだレコード数] の値が [読み取ったレコード数] の値と合わない場合があります。例えば、初期ロードジョブと増分ロードジョブの組み合わせでは、初期アンロードフェーズが完了する前にソースから読み取られた変更レコードは、まだ必要でないために破棄されます。
サブタスク	データをソーステーブルからターゲットにレプリケートするためにデータベース統合ジョブが使用したサブタスクの数。ジョブを実行すると、各ソーステーブルを処理するために個別のサブタスクが使用されます。
キャプチャの進行状況	増分ロードジョブ、および初期ロードと増分ロードの組み合わせジョブの場合、キャプチャ処理が進行したソース変更ストリーム内の日付と時刻（ユーザープロファイルのタイムゾーンで表示）。
スケジュール	初期ロードジョブについては、ジョブの実行に使用されるスケジュールの名前、またはジョブを手動で実行する場合は「スケジュールなし」。
継続時間（左下隅）	ジョブが終了するまでの実行時間（hh:mm:ss 形式）。

プロパティ	説明
開始時刻 (左下隅)	ジョブがデプロイされた日時。
終了時刻 (左下隅)	処理完了、停止、または失敗したためにジョブが終了した日時。このフィールドは、実行中のジョブの場合は表示されません。

オブジェクトの詳細

【オブジェクトの詳細】パネルには、ソーステーブルのサブタスクがリストされます。データベース統合ジョブの最後の実行からのソーステーブルごとに統計とステータス情報を表示することができます。オブジェクト名の横にある展開矢印をクリックすると、テーブルで処理された挿入、更新、削除、および LOB 変更の数が表示されます。

次の図に、【オブジェクトの詳細】パネルの例を示します。

Object	Target Object	Status	Log
▼ MBESTLEY.ALIDTE_RK	MBESTLEY.ALIDTE_RK	Running	Select log
Inserts	Updates	Deletes	LOBs
11	5	0	0
▶ MBESTLEY.DATEIME	MBESTLEY.DATEIME	Running	Select log

注: このパネルには、最新のジョブ実行に関する情報が表示されます。実行されていないジョブまたは再開中のジョブの場合、このタブは空白になります。

次の表に、ロードタイプとステータスに応じて、各テーブルで表示される【オブジェクトの詳細】フィールドを示します。

カラム	説明
オブジェクト	<p>ターゲットにプロパゲートされたデータのソーステーブルまたはビューの名前。</p> <p>増分ロードジョブまたは初期および増分ロードジョブの組み合わせの場合、オブジェクト名の左にある矢印アイコンをクリックすると、処理された挿入、削除、更新、LOB および DDL 文の数の詳細が表示されます。初期および増分ロードジョブの組み合わせの場合は【アンロード数】フィールドも表示され、処理の初期ロード部分によってソースから読み取られたレコード数が示されます。詳細な CDC カウントを使用する場合は以下の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 現在のジョブ実行のみカウントされます。ジョブを停止して再開すると、カウントはゼロから再開されます。これらのカウントを使用してターゲットに書き込まれた行数を確認しないでください。 - カウントはソースから読み取られた行数に基づいており、ターゲットに書き込まれたレコード数を反映していません。ターゲットの書き込み操作は、操作を組み合わせる物理的な書き込み回数を減らすことで最適化される場合があります。この場合、カウントは書き込み操作数と一致しないことがあります。 - 値 N/A は、カウント値がそのカウントタイプで使用できないか、値がまだ計算されていないことを示しています。 - アンロード処理の開始には遅延が発生するため、【アンロード数】にはジョブの開始時や再同期時のソースレコード数が反映されない場合があります。アンロード要求からアンロード処理の開始までの間に、行がソーステーブルに追加されたり、ソーステーブルから削除されることがあります。
ターゲットオブジェクト	ソースオブジェクトにマッピングされているターゲットオブジェクトの名前。

カラム	説明
読み取ったレコード数	初期ロードジョブの場合、ソースから読み取られたレコード数。その他のロードタイプの場合、この情報は 【ジョブの概要】 タブでジョブレベルでのみ利用できます。
書き込んだレコード数	初期ロードジョブの場合は、ターゲットに正常に書き込まれたレコードの数。その他のロードタイプの場合、この情報は 【ジョブの概要】 タブでジョブレベルでのみ利用できます。 注: ソースから読み取られた一部のレコードが破棄された場合、[読み取ったレコード数] の値が [書き込んだレコード数] の値よりも大きくなる場合があります。例えば、初期ジョブと増分ジョブの組み合わせの場合、ジョブの初期アンロードフェーズが完了する前に読み取られたソース変更レコードは破棄されます。
タスク時間	初期ロードジョブの場合、ソーステーブルを処理したサブタスクが完了または停止するまでの実行時間。その他のロードタイプの場合、この情報は 【ジョブの概要】 タブでジョブレベルでのみ利用できます。 ジョブを実行すると、各ソーステーブルを処理するために個別のサブタスクが使用されます。
ステージ	初期および増分ロードジョブの組み合わせの場合、このカラムには、テーブル固有のジョブサブタスクの初期ロード処理から CDC 処理への遷移におけるステージが表示されます。その他のロードタイプの場合、このカラムは表示されません。 ステージは、次の値のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> - 開始されていません。 テーブルの初期ロード処理が開始されていないか、エラーが発生し、テーブルが 【再試行時にエラー】 状態である場合は、次のテーブル処理が開始されていません。 - 開始。 初期ロード処理が開始されました。 - アンロード中。 サブタスクが、初期ロード処理の一環として、テーブルからデータをアンロード中です。 - アンロード済み。 サブタスクが、初期ロード処理の一環として、テーブルからデータのアンロードを終了しました。 - 完了。 サブタスクが、テーブルの初期ロード処理を完了しました。 - ノーマル。 サブタスクが、テーブルの初期ロード処理を完了し、テーブルの CDC 処理を開始しました。 - キャンセル済み。 初期ロード処理がキャンセルまたは停止しました。 - エラー。 サブタスクが、ソーステーブルでエラーを検出しました。 【アクション】メニューの【再同期】 初期および増分ロードジョブの組み合わせのサブタスクについては、サブタスクのステージが 【ノーマル】 でサブタスクのステータスが 【キューに格納】 または 【開始中】 以外のステータスである場合、サブタスク行の右端に 【アクション】 メニューが表示されます。 【アクション】 メニューから 【再同期】 を選択すると、ソースオブジェクトとターゲットオブジェクトを再同期できます。詳細については、一括取り込みのヘルプにあるソースオブジェクトとターゲットオブジェクトの再同期に関する説明を参照してください。

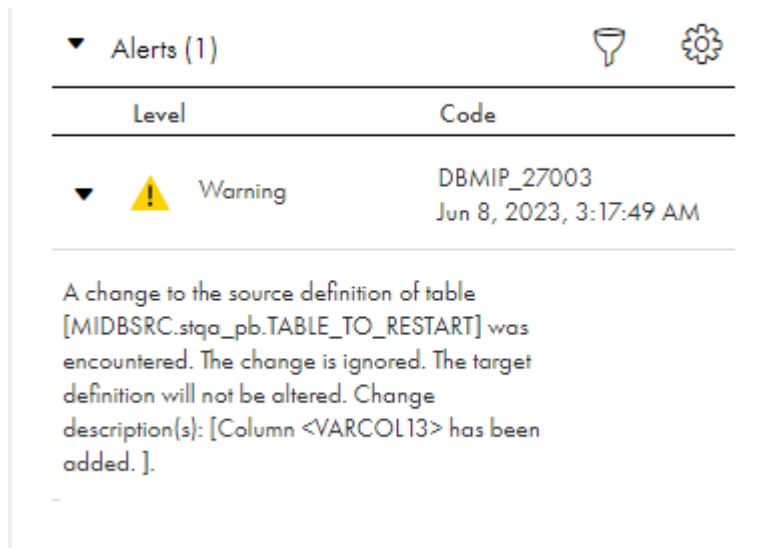
カラム	説明
ステータス	<p>ソースオブジェクトのジョブサブタスクのステータス。</p> <p>注: ジョブが実行を停止した場合、サブタスクのステータスには、ジョブの終了前に最後に収集されたステータスが反映されます。例えば、ジョブが強制終了されても、サブタスクのステータスは「実行中」となることがあります。</p> <p>状態は、次の値のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - キューに格納。 サブタスクの実行が開始されていません。 - 開始中。 サブタスクが開始中です。 - 開始。 初期および増分ロードジョブの組み合わせの場合に、サブタスクが開始されました。 - 実行中。 サブタスクが実行中です。 - 保留。 一括取り込みデータベース (DBMI) エージェントの更新中に、ジョブだけでなくサブタスクも一時停止状態になっています。 - 完了。 サブタスクが処理を正常に完了しました。 - 停止中。 停止要求への応答として、サブタスクが停止しようとしています。 - 停止。 サブタスクが停止されました。 - 強制終了中。 強制終了要求への応答として、サブタスクが直ちに終了しようとしています。 - 強制終了。 サブタスクが強制終了されました。 - 失敗。 サブタスクが予期せず終了しました。 - エラー。 サブタスクでエラーが発生したため、データがターゲットテーブルに書き込まれなくなりました。初期および増分ロードジョブの組み合わせの場合、サブタスクは実行中で増分変更データを処理している可能性があります、データはターゲットに送信されていません。 - 再試行時にエラー。 サブタスク処理の最後の再試行時にエラーが発生し、現在は、サブタスクは処理の再試行を待機中です。 <p>注: ソーステーブルで DDL の変更が行われた後にジョブを再開すると、最初の DML 操作がソーステーブルで実行されるまではテーブルサブタスクの状態が正しく更新されない場合があります。</p>
ログ	<p>ソースオブジェクトのジョブ実行ログをダウンロードできます。ログのタイプと可用性は、負荷のタイプとステータスによって異なります。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 完了。 ジョブの実行で生成されるオブジェクトサブタスクの完全なログ。このログタイプは、初期ロードジョブの「完了」、[失敗]、または「強制終了」のサブタスクで使用できます。 - エラー。 エラーメッセージを含むログ。このログタイプは、初期ロードジョブまたは増分ロードジョブの「失敗」または「エラー」のサブタスクでのみ使用できます。 - ステージログ。 ソースオブジェクトの初期ロードと増分ロードの組み合わせジョブの初期処理フェーズから増分処理フェーズへの移行をカバーするログ。 <p>ログをダウンロードするには、[ダウンロード] アイコンをクリックします。</p> <p>注: ジョブをデプロイ解除した場合は、関連タスクを削除していない場合にのみ、テーブルのログをダウンロードできます。</p> <p>増分ロードジョブの場合は、[タスクサマリ] パネルから、ジョブ実行全体の完全なログとエラーログを取得できます。</p>

注: リスト内の行の間隔を制御するには、[検索] ボックスの横にある [設定] アイコンをクリックします。

アラート

【警告】 パネルは、選択した増分ロードジョブ、または初期ロードと増分ロードの組み合わせジョブの場合、オペレーションインサイトの「一括取り込み」ページに表示されます。**【警告】** パネルでは、増分ロード中、または初期ロードと増分ロードの組み合わせ処理中に、ソーススキーマの変更などの特定のイベントに対して表示される警告メッセージを確認できます。

次の図に、このパネルとアラートの例を示します。



データベース統合の【アラート】 > 【一括取り込みアラート】ページから、オペレーションインサイトジョブの警告通知を設定することができます。これにより、オペレーションインサイトは、取り込みジョブが設定されたステータスのいずれかを取得するか、DDL 変更を検出するたびに、選択したユーザーおよびユーザーグループに一括取り込みの警告通知を送信します。

注: 関連するタスクのスキーマドリフトオプションを【無視】に設定している場合でも、【警告】パネルには、検出されたすべてのスキーマ変更に対する警告メッセージが表示されます。

重要度または日付範囲に基づいて警告のリストをフィルタリングできます。日付範囲を指定するには、【フィルタ】フィールドに次のいずれかのタイプの値を入力します。

- 保存されたすべての警告に対する【任意の時間】。
- 当日の午前 0 時から午後 11 時 59 分までに発行された警告に対する【今日】。
- 先週、先月、または今年の初めから現在までの警告を示す【先週】、【先月】、または【昨年】。
- 開始日時と終了日時から構成されるカスタムの日付範囲を指定する【カスタム】。

警告のリストには次のカラムが含まれています。

カラム	説明
レベル	警告メッセージの重要度レベル（「重大」または「警告」など）。
コード	警告のタイプを識別する英数字コードで、その後にイベントが発生した日時が続きます。

展開矢印をクリックすると、イベントの説明が表示されます。

ファイル取り込みジョブの詳細

各ファイル取り込みタスクインスタンスのジョブの結果には、ジョブのステータスと、成功およびエラー統計が表示されます。

ファイル取り込みタスクの詳細を表示するには、一括取り込みの【マイジョブ】ページまたはオペレーションインサイトの一括取り込みページの【すべてのジョブ】タブで、タスク名をクリックします。

ジョブをダウンロードできます。次の図にファイル取り込みジョブの詳細を示します。

Informatica Operational Insights

adlgen2_to_ftps_1SatJun122021094156-124505

Job Properties

Task Name: [adlgen2_to_ftps_1SatJun122021094156](#)
Task Type: File Ingestion Task
Started By: filalistener
Start Time: Jun 12, 2021, 10:31:16 AM
End Time: Jun 12, 2021, 10:31:31 AM
Duration: 00:00:15

Results

State: Success
Session Log: [Download Session Log](#)
Success Files: 14
Error Files: 0
Duplicate Files: 0
Error Message: Job completed normally

File Events (14)

Name	File Size(Bytes)	Status	Transfer Type	Start Time	Duration (ms)	Remarks
File7.txt	26	Success	FTPS Upload	Jun 12, 2021, 10:31:30 AM	358	
File6.txt	32	Success	FTPS Upload	Jun 12, 2021, 10:31:30 AM	265	
File7.txt	26	Success	ADLS Download	Jun 12, 2021, 10:31:29 AM	929	
File6.txt	32	Success	ADLS Download	Jun 12, 2021, 10:31:29 AM	928	
File5.txt	35	Success	FTPS Upload	Jun 12, 2021, 10:31:28 AM	297	
File3.txt	45	Success	FTPS Upload	Jun 12, 2021, 10:31:27 AM	305	

ジョブのプロパティ

ファイル取り込みタスクインスタンスのジョブのプロパティでは、インスタンスの全般プロパティが表示されます。

以下の表に、ジョブのプロパティを示します。

プロパティ	説明
タスク名	関連取り込みタスクの名前。タスク名のリンクをクリックして、一括取り込みでタスクの詳細を表示または編集できます。
タスクタイプ	タスクのタイプ。この場合はファイル取り込みタスク。
開始したユーザー名	ジョブを開始したユーザーまたはスケジュールの名前。
開始時刻	ジョブが開始された日時。
終了時刻	ジョブが完了または停止した日時。
継続時間	完了または停止するまでにジョブが実行された時間。

比較結果

ファイル取り込みタスクインスタンスのジョブの結果には、ジョブのステータスとエラー統計が表示されます。

ジョブの結果には次のプロパティが含まれます。

プロパティ	説明
状態	ジョブステータス。ジョブは、次のいずれかの状態になります。 <ul style="list-style-type: none">- 実行中。ジョブは継続して実行中です。- 成功。ジョブが正常に完了しました。- 失敗。エラーが発生したため、ジョブは完了しませんでした。- 強制終了。ジョブは強制終了されました。 注: ファイル取り込みジョブの実行中に Secure Agent が利用できない場合、ジョブは応答しない状態のままになり、200 分後にステータスが 【強制終了】 に変わります。
セッションログ	セッションログファイルをダウンロードできます。デフォルトでは、Informatica Intelligent Cloud Services は、10 回の実行のセッションログを格納してから、最新の実行でログを上書きします。以前の実行のセッションログが必要な場合は、セッションログファイルを保持するディレクトリのバックアップを取ります。 セッションログファイルは、次のディレクトリに書き込まれます。 <Secure Agent installation directory>/apps/MassIngestionRuntime/data/taskLogs
成功ファイル	ターゲットへの転送、ダウンロード、アップロードが成功したファイルの数。
エラーファイル	ターゲットに転送されなかったファイルの合計数。
重複するファイル	重複として特定されたファイルの数。
エラーメッセージ	ジョブに関連付けられているエラーメッセージ（存在する場合）。

ファイルイベント

このセクションには、ファイル取り込みタスクで転送されたファイルの合計数と各ファイルの情報が表示されます。

[ファイルイベント] セクションは、ファイル取り込みタスクがファイルを転送するたびに更新され、ファイル転送プロセス全体でファイルの状態が更新されます。ファイルの転送の進行状況は、ファイルの状態に基づいて追跡できます。

[ファイルイベント] セクションには、各ファイルの次のプロパティが表示されます。

プロパティ	説明
名前	ファイルの名前。
ファイルサイズ	ファイルのサイズ（バイト単位）。

プロパティ	説明
ステータス	<p>ファイル転送のステータス。ファイルは、次のいずれかの状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 成功。ファイル転送は正常に完了しました。 - 失敗。エラーが発生したため、ファイル転送は完了しませんでした。 - 処理中。ファイル転送が実行中です。 - 重複。以前に同じ名前、ディレクトリの場所、サイズのファイルを転送したタスクです。 - 中断。ファイル転送中にネットワークの問題が発生したか、サーバーの資格情報が変更されたため、ファイル転送が中断されました。ファイル取り込みタスクを実行して、中断されたファイルの転送を再開します。 <p>注: この状態は、ファイル取り込みタスクが高度な FTP ソース、高度な SFTP ソース、または高度な FTPS ソースとの間でファイルを転送するときに適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 不明。ファイルの転送中に、前のタスクインスタンスがエラーを検出しました。ソースが重複ファイルをスキップするように設定されているタスクに適用できます。 - 隔離。タスクは、ソースから検出した感染ファイルを隔離済みとしてマークします。 <p>状態プロパティを監視して、各ファイルのファイル転送の進行状況を追跡できます。</p>
転送タイプ	<p>ファイル転送のタイプ。ファイルは、次のいずれかの転送タイプになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - <code><source_name></code>ダウンロード。ファイルはソースからダウンロードされます。<code><source_name></code>はソースの名前です。 - <code><target_name></code>アップロード。ファイルはターゲットにアップロードされます。<code><target_name></code>はターゲットの名前です。 - ソースからコピー。ファイル取り込みタスクはファイル処理アクションを実行しています。 - ターゲットへコピー。ファイルはローカルディレクトリからローカルディレクトリに転送されます。
開始時刻	ファイル転送が開始された日時。
継続時間	ファイル転送の時間（ミリ秒単位）。
コメント	失敗ステータスのファイルイベントに適用されます。メッセージには、ファイル転送タイプに基づくイベントの失敗の理由が含まれています。

ストリーミング統合ジョブの詳細

ストリーミング統合ジョブの詳細を表示するには、一括取り込みの【**マイジョブ**】ページまたはオペレーションインサイトの一括取り込みページの【**すべてのジョブ**】タブで、ジョブ名をクリックします。

【概要】タブ

【概要】タブにはジョブの全般プロパティが表示されます。ジョブログをダウンロードする事もできます。

次の図に、ストリーミング統合ジョブの【概要】タブを示します。

以下の表で、ジョブの概要プロパティについて説明します。

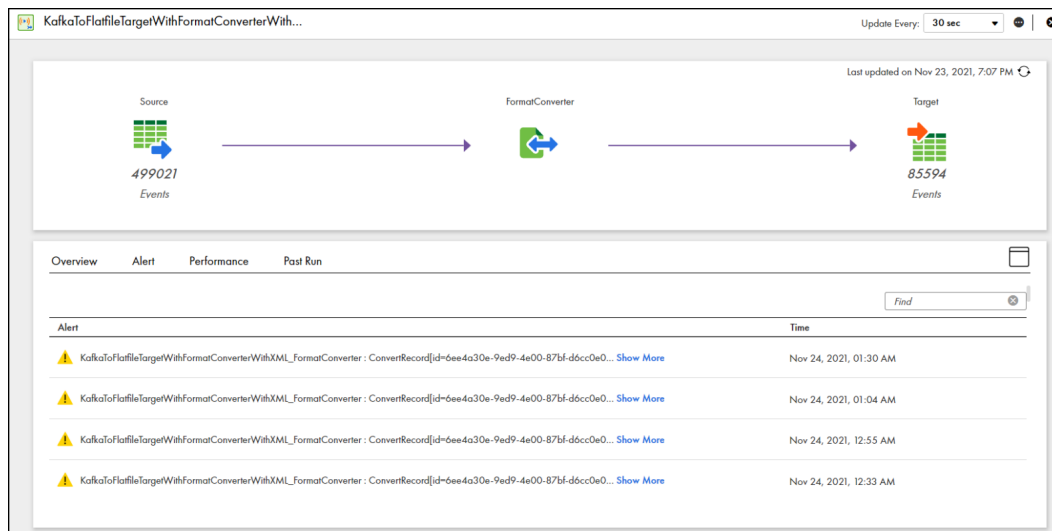
プロパティ	説明
ジョブ名	ジョブの名前。
バージョン	ジョブのバージョン番号。
タスクタイプ	ストリーミング統合タスクのタスクタイプ。
タスクの場所	ストリーミング統合タスクを含むプロジェクトまたはプロジェクトフォルダ。

プロパティ	説明
開始したユーザー名	ジョブをデプロイしたユーザーの名前。
Secure Agent	Secure Agent が実行されている場所。 Secure Agent の横に警告記号がある場合は、Secure Agent がオフラインかアクセスできないことを示します。
状態	ジョブの状態。 ジョブは、次のいずれかの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> - デプロイ中。ジョブはデプロイ中です。 - 稼働中。ジョブは実行中です。 - 実行中（警告あり）。ジョブは実行中ですが警告があります。 - 実行中（エラーあり）。ジョブは実行中ですがエラーがあります。警告が発生した状態でジョブが7分間またはランタイムオプションで指定した時間、継続的に実行すると、ジョブの状態は「実行中（エラーあり）」に変わります。 - アンデプロイ済み。ジョブはアンデプロイされています。 - 停止。ジョブが意図的に停止されました。
継続時間	ジョブがアンデプロイされるまでに実行した合計時間。合計時間は hh:mm:ss の形式で表示されます。
開始時刻	ジョブがデプロイされた日付と時刻。
ランタイム環境	ジョブの実行で使用されるランタイム環境の名前。
ログのダウンロード	実行中のジョブに対してダウンロードするログレベル。 次のいずれかのログをダウンロードすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - 完全。ログ全体。すべてのタイプのメッセージを含みます。状態に関係なく、実行した任意のジョブに利用できます。 - 最新。ログの最新バージョン。 ログをローカルシステムにダウンロードするには、 【ダウンロード】 アイコンをクリックします。

【アラート】 タブ

【アラート】 タブには、イベントが発生したときのアラートメッセージが表示されます。

次の図に、ストリーミング統合ジョブの【アラート】 タブを示します。



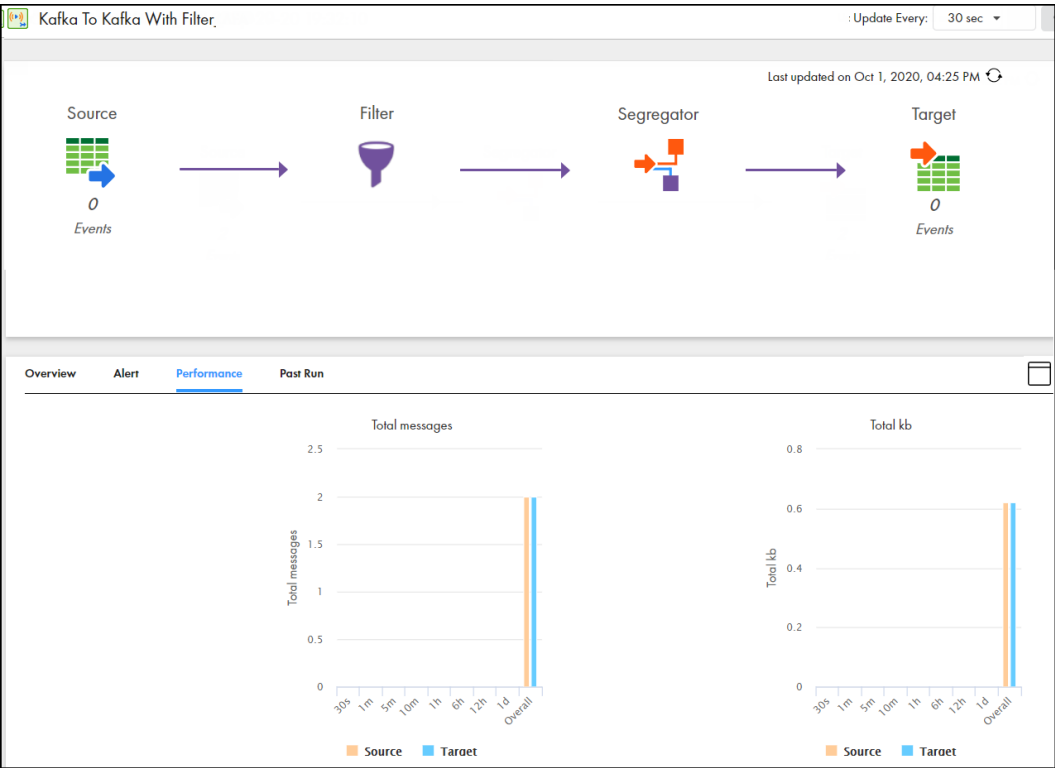
以下の表で、ジョブのアラートプロパティについて説明します。

プロパティ	説明
アラート	デプロイされたジョブに警告が発生したときにジョブが返すメッセージまたはメッセージのグループ。
時間	イベントが発生したときの日付と時刻。

[パフォーマンス] タブ

[パフォーマンス] タブには、ジョブのソースおよびターゲットのスループット情報のグラフが表示されます。

次の図に、ストリーミング統合ジョブの【パフォーマンス】タブを示します。



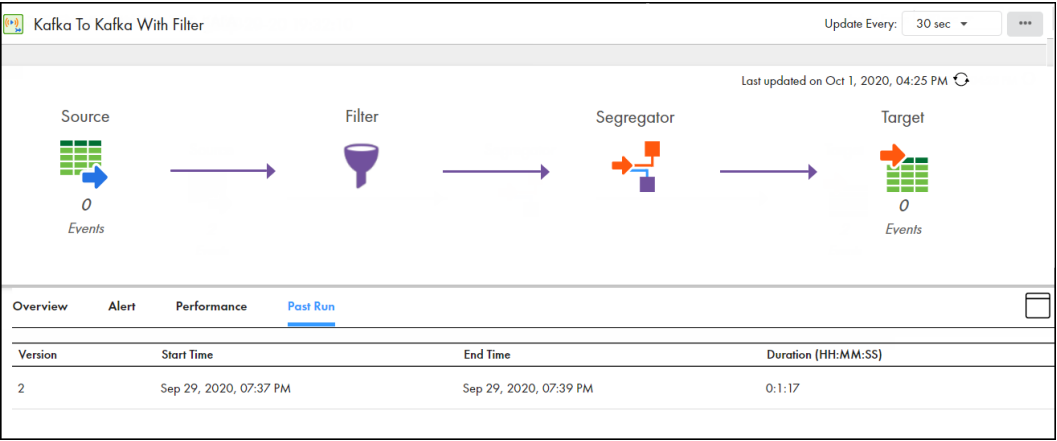
以下の表で、ジョブのパフォーマンスプロパティについて説明します。

プロパティ	説明
合計メッセージ	1 秒間にストリーミングされたメッセージ数の平均。
合計 KB	1 秒間にストリーミングされたメッセージのキロビット数の平均。

【過去の実行】 タブ

【過去の実行】 タブには、ストリーミング統合ジョブの以前の実行に関連する統計およびステータス情報が表示されます。

次の図に、ストリーミング統合ジョブの【過去の実行】タブを示します。



以下の表に、過去の実行のプロパティを示します。

カラム	説明
バージョン	ジョブのバージョン番号。
開始時刻	ジョブがデプロイされた日付と時刻。
終了時刻	ジョブがアンデプロイされたときの日付と時刻。
継続時間	ジョブがアンデプロイされるまでに実行した合計時間。合計時間は hh:mm:ss の形式で表示されます。

索引

C

Cloud アプリケーション統合コミュニティ
URL [4](#)
Cloud 開発者コミュニティ
URL [4](#)

I

Informatica Intelligent Cloud Services
Web サイト [4](#)
Informatica グローバルカスタマサポート
連絡先情報 [5](#)

W

Web サイト [4](#)

あ

アップグレード通知 [5](#)

し

システムステータス [5](#)

す

ステータス
Informatica Intelligent Cloud Services [5](#)
ストリーミング取り込みジョブ [26](#)

め

メンテナンスの停止 [5](#)